

「柔道」要項

(正式競技)

- 1 主催 (公財) 東京都スポーツ協会・東京都
 2 主管 (公財) 東京都柔道連盟
 3 日時 令和8年5月17日(日) 14:00~16:00
 4 会場 講道館 大道場(新館7階)
 5 種別 男子
 6 体重測定 当日12時00分~13時00分 講道館新館2階 第4会議室で行う。(無差別は行なわない。)
 7 競技上の審判規定及び申し合わせ事項

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定で行う。
 (2) 試合時間4分。
 (3) 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「有効」「僅差」とし、得点差がなくかつ「指導の差」が1以内の場合は「引き分け」とする。※「僅差」とは、指導の差2をいう。
 (4) チームの勝敗は次の順で決定する。
 ① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 ② ①で同等の場合、「一本勝ち」の多いチームを勝者とする。
 ③ ②で同等の場合、「技あり優勢勝ち」の多いチームを勝者とする。
 ④ ③で同等の場合、「有効優勢勝ち」の多いチームを勝者とする。
 ⑤ ④で同等の場合、代表戦を行う。「引き分け」の対戦の中から一試合(複数の場合抽選)、時間無制限のゴールデンスコア方式により決定する。
 (5) 区市町村対抗トーナメント方式とする。

8 参加資格

東京都スポーツ大会実施要項「2 大会参加資格等(8ページ)」に定めるもののほか、以下のとおりとする。

- (1) 東京都外在住者の参加は1地区最大2名とする。
 (2) 次の項目に該当する者は参加を制限する。
 (ア) 体育・スポーツの学生連盟(東京学生柔道連盟等)のいずれかに登録している学生(大学生)は参加できない(定時制または通信制の高等学校、各種学校の生徒及び通信制大学または夜間大学の学生を除く)。
 (イ) 平成3年3月31日以前に出生した者は参加できない。
 (ウ) 過去において、次にかかげる大会に出場した者は参加できない。
- | | |
|-------------------------|-------------------|
| ① 国際競技会並びに全日本選手権大会 | ⑥ 全国警察大会 |
| ② 国民スポーツ大会(旧:国民体育大会) | ⑦ 講道館杯全日本体重別選手権大会 |
| ③ 全日本実業柔道団体対抗大会(第3部を除く) | ⑧ 全日本産業別大会 |
| ④ 全日本実業柔道個人選手権大会 | ⑨ 全日本学生柔道大会 |
| ⑤ 全国警察選手権大会 | |

9 参加人員

監督1名、選手3名(73kg以下1名、90kg以下1名、無差別1名)、計4名とする。

10 順位決定方法

トーナメント方式により1位、2位、3位(2チーム)、5位(4チーム)を決める。

11 表彰

成績第1位のチーム(区市町村)に、優勝旗を授与する。

成績第1位から第3位までのチーム(区市町村)に、それぞれ賞状及びメダルを授与する。

12 申込方法・期限等

- (1) 申込方法・期限

① 郵送: 令和8年3月16日(月)~4月1日(水) ※必着(鳥しよ問わず全地区)

※ 郵便追跡が可能なものをご送付ください。

〒160-0013 新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square 10階
 (公財) 東京都スポーツ協会 「東京都スポーツ大会」大会本部
 TEL03-6804-8122 FAX03-6804-8244

② 持参受付: 令和8年4月2日(木) 10:00~16:00

Japan Sport Olympic Square 3階「会議室1」

(2) 申込書の記入方法

自宅住所の欄は、すべてのメンバーの住所を記入すること。なお、東京都内在住者は勤務先欄の記入は不要とする。東京都外在住者は自宅住所のほか、勤務先名と勤務先住所を記入すること。

(3) 申込み後の選手変更は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を変更する場合は、大会開催日の3日前（5月14日（木））までに所定の変更届を大会本部に提出のうえ、大会事務局（都柔連）にもメール（moshikomi@tojuren.or.jp）または FAX（03-3818-5644）で提出すること。

※なお、ご提供いただきます住所・氏名等の個人情報には本件の目的以外には一切使用致しません。

13 参加費

参加費は、監督・選手一人に対し、500円とする。

※入金後の返金は原則として対応できませんので予めご了承ください。

各区市町村は、全競技一括して、大会本部へ納金（銀行振込）すること。

14 組合せ

組合せは、（公財）東京都柔道連盟で抽選を行い、同連盟ホームページに4月下旬に掲載するの
で確認すること。（https://tojuren.or.jp/）

15 その他

(1) 参加者全員に対して傷害保険に加入するものとし、費用は1チーム1,300円を当日受付で徴収する。大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。

大会当日、参加者は次の①から②のいずれかを必ず持参すること。

①マイナ保険証の写真またはコピー

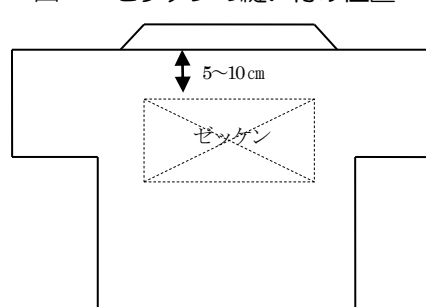
②健康保険資格確認書の「資格情報」の写真またはコピー

(2) 出場選手は着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けること。（下図参照）所属名は、出場地区名とする。また、ゼッケンを取り付けていない選手は、失格とする。

図1 ゼッケンの縫い付け方



図2 ゼッケンの縫い付け位置



① 点線の部分を縫い付ける。

② 図2の位置に強い糸で縫いつける。

③ 名字（姓）は上側2/3、所属名は下側1/3。

④ ゼッケンは白地で書体は太いゴシック（楷書）で黒色。

⑤ サイズは横30cm～35cm、縦25cm～30cm。

(3) 脳震盪対応について

ジュニア（20歳未満）以下の選手及び監督は下記事項を遵守すること。

① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）

③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(4) 監督として帯同する者は、審判員に準じた服装とする。

スーツ・ネクタイ着用（審判員ネクタイ不可）